

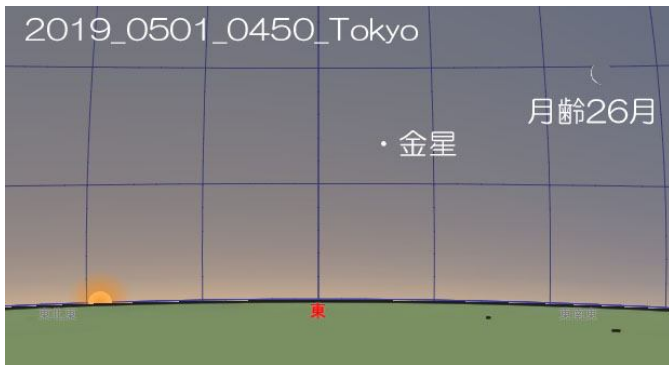
「令和の初日の出」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

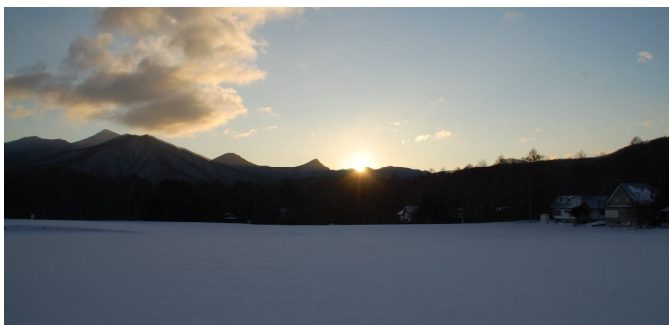
「初日の出」といえば、普通は元旦の日の出のことを指す。しかし、明日の朝の日の出は特別なように思う。「令和の初日の出」だからだ。



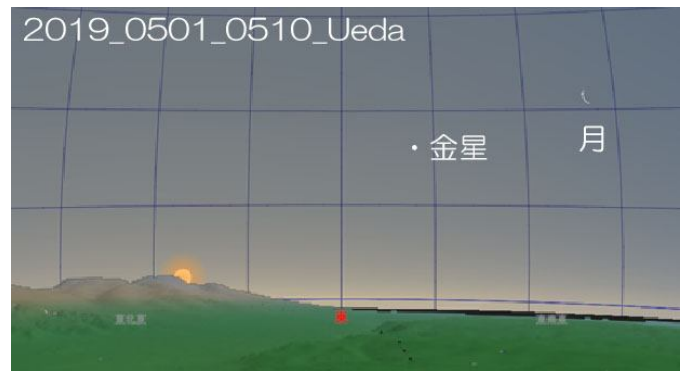
東京では午前 4 時 50 分頃に日の出を迎える。しかし地平線に何も障害物のない場所は稀なので、もっと遅くなるだろう。太陽の右上(黄道上)に金星と細い月も並んでいるはずだ。



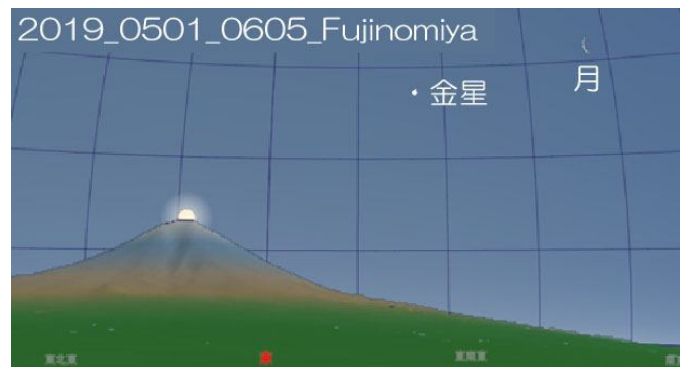
私の滞在している北軽井沢では、このように見える。経度が少し西よりのこと、そして東側の山が邪魔をして東京の平地よりも、日の出は約 30 分遅れる。



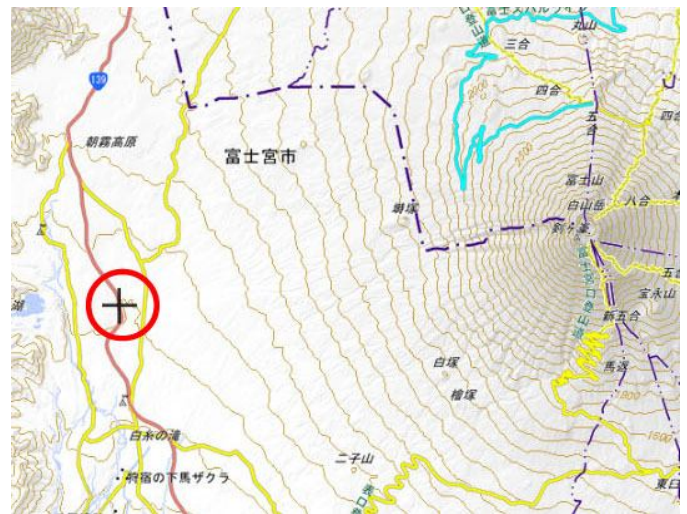
これは元旦の初日の出である。冬至に近く、5月1日の日の出よりも、かなり南より(右より)から太陽が昇ってきた。



浅間の山頂付近から出る日の出を見なければ、上田市郊外に行くと良い。「ダイヤモンド富士」ならぬ「令和初ダイヤモンド浅間」が見られるだろう。



本家の「令和初ダイヤモンド富士」を撮影したければ、富士宮市郊外に行く必要がある。



緯度・経度から場所を特定すると、この地点になる。富士宮市郊外、朝霧高原の一角だ。有名な「白糸の滝」も近い。国道 139 号線上からも見えるだろうが、少し東側の県道のほうが安全だろう。この地点で富士山頂から太陽が顔を出すのは、午前 6 時 5 分頃になる。

恐らくこの地点は、同じように「令和初ダイヤモンド富士」を撮影しようと、カメラマンが殺到するにちがいない。私も行きたいが、友人と北軽井沢の日の出を見ることにしているので、それを楽しみにしたい。心配なのは天気だ。あまり良くなさそうだ。